

# 令和5年度 第2回河合町障害福祉計画等策定委員会 会議録（要旨）

日時	令和5年11月27日（月） 午前10時～
場所	河合町役場 3階 第6会議室
会議内容	1 開会 2 協議事項 （1）アンケート調査結果について （2）第7期河合町障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画（案）について 3 その他

## 1 開会

### 【事務局】

ただいまより第2回河合町障害福祉計画等策定委員会を開催させていただきたいと思っております。この会議は、河合町障害福祉計画等策定委員会設置要綱第6条2項にあります、半数以上の委員の出席をいただいておりますので、成立するものでございます。それでは、要綱第5条第3項の規定により、委員長が委員会を統括するとなっておりますので、今後の議事進行については委員長にお願いします。

## 2 協議事項

### （1）アンケート調査結果について

（事務局より説明）

### 【委員】

地域生活支援事業の「理解促進研修・啓発事業」について、地域住民に対する研修を実施していると思いますが、精神障がいに関しても行われていたのでしょうか。

### 【事務局】

毎年、精神障がいに特化したものではないのですが、3障がいを対象にした研修を行っております。昨年は成年後見に関する講演など、ニーズが高い内容に関して研修を行っています。

### 【委員】

精神障がいは、人権の問題や今までの歴史があります。河合町において、精神障がいに特化した研修を計画的に行う必要があるのではないかと。三宅町、川西町、田原本では計画的に10年以上、精神障がいに関する研修会や講演会を行っています。河合町でも7町の協議会や家族会も含めて協力しますので、何かやっていただきたい。

### 【事務局】

地域住民を対象として西和7町で実施しています。その他、役場職員を対象に精神障がいを理解するための研修を実施しています。また民生委員においても、精神障がいの理解を深めるための研修を実施

しています。もっと広く住民の皆様にも興味を持っていただき、精神障がいにも偏見を持たず、このような所に困り感を抱えている方がいるということを知っていただくための一つの機会だと思います。今後、河合町においても講演会などを実施できるよう、家族会と協議しながら啓発を進めてまいりたいと思います。

**【委員】**

地域移行支援について、町として町民の入院実態を把握しているのですか。

**【事務局】**

基本的には精神障がい者の入院実態などの情報は把握していません。退院の際に地域での生活を整備するために病院より相談いただくケースはあります。

**【委員】**

「障がいの早期発見・早期療育体制の充実」とあります。本人もしくは家族から相談があったとき以外に障がい者を発見するための体制や制度はあるのですか。

**【事務局】**

どちらかというとな身体的、いわゆる内部障がいなどについては早期案件・早期治療することで重症化しないというところがありますので、このような表記にしています。児童については保健センターで様々な関わりの機会を受けています。発達相談を実施し、相談体制を整えています。精神障がいについては、本人から訴えていただかないことには、なかなか次のステップへつながらない部分があります。相談いただいた場合には適切な機関を紹介しています。

**【委員】**

アンケートについて、回答者は分かるのですか。

**【事務局】**

アンケート調査については、回答者の質問項目を設けていますので、確認することは可能です。

**【委員】**

「障害者」の「害」の表記について、基本的に法律用語は漢字で表記していただいたほうがいいと思います。

**【事務局】**

法律用語につきましては、漢字で表記させていただきたいと思います。

### 3 その他

**【委員】**

精神障がいに関する話ですけれど、天理医療大学の先生が「訪問看護師が把握する高齢の親と暮らす高齢ひきこもり者の実態と課題」をまとめています。全国の2,500か所の訪問看護ステーションに

対して調査をしています。2,500か所の訪問看護ステーションの内、90%が一般の訪問看護ステーションです。訪問看護で支援する高齢者の家族に引きこもりの子どもがいる。恐らく、精神障がい者が約5割、知的障がい者が2割。そのうち、受診の履歴がある人が約4割。高齢のひきこもり者と会った方が383件の回答の内、約半分の165人です。要するに、お年寄りの訪問看護で訪問した際、家族の約半数に精神障がい、知的障がい疑われるひきこもりの方がいたということです。

このアンケートでは手帳を持っている人や療養している人が対象になっています。実際はそれ以外に見えていない人がいっぱいいるのではないのでしょうか。その見えないものを見つける必要があるのではないかと。この障がい計画は進めていくということで良いと思うのですが、精神障がいは一番見えにくいところがあります。偏見もあります。支援につながっていないけれども、支援を必要とするものをどの様に見つけ、支援していくかを検討していただきたい。家族会としても協力させていただきますので、ぜひお願いしたいと思います。

### 【事務局】

実際に高齢者の方を50代のひきこもり者が介護しているという事例は出てきております。そのような方につきましては、各分野のスタッフと協力しながら支援をしています。河合町でも把握できていない方もたくさんいらっしゃると思います。そのような方を見つけていくというのは難しいです。SOSを出していただかないことには、なかなか行政も動けないところもあります。そのようなところも含めて啓発を行い、地域住民が支えあう中で情報を教えていただくことによって行政も動きやすくなります。地域住民と行政と連携しながら、今後の対策を考えていけたら良いかと思います。家族会とも協力しながら支援を検討したいと考えておりますので、またご協力のほどよろしくお願いたします。

### 【委員】

人口が1万7,000人。例えば、統合失調症は100人に1人です。数字を見ると、かなり把握できていると思います。もう一步踏み込めば、とても良いことができるのではないかと思います。

### 【委員長】

以上をもちまして第2回河合町障がい福祉計画の策定員会を終了とさせていただきます。